

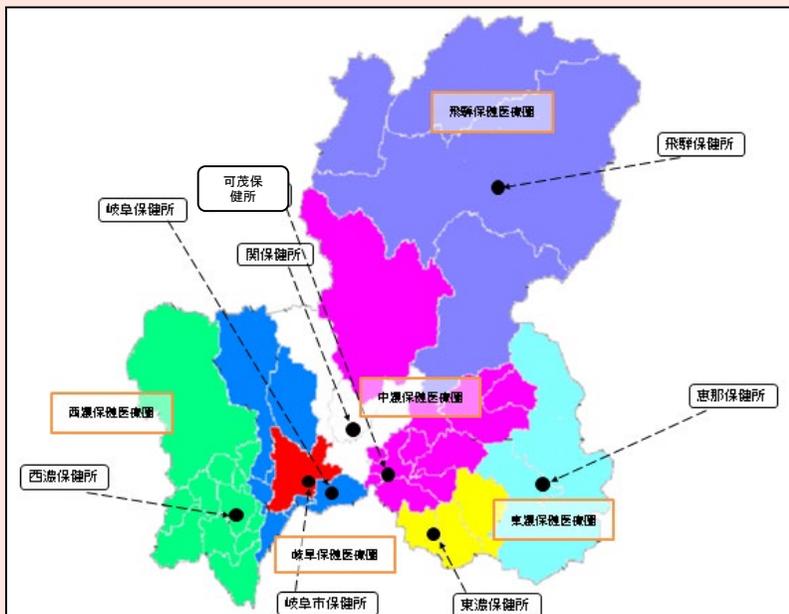
岐阜県

保健所を中心とした 精神障がい者の自立支援の取組

岐阜県では地域特性を生かすために保健所を主体とした精神障がい者の地域生活支援事業を行っており、地域生活支援センターや医療機関との協働により、ピアサポーターの活用に積極的に取り組んでいます。

1 県又は政令市の基礎情報

岐阜県



取組内容

【精神障害者の地域移行の取り組み】

- ①地域移行推進会議の設置及び開催
- ③ピアサポートの活用
- ④家庭訪問指導事業
- ⑤自立支援協議会との連携

基本情報（都道府県等情報）

障害保健福祉圏域数 (H31年4月時点)	5	か所		
市町村数 (H31年4月時点)	42	市町村		
人口 (H30年10月時点)	1,999,406	人		
精神科病院の数 (H30年6月時点)	18	病院		
精神科病床数 (H30年6月時点)	3,959	床		
入院精神障害者数 ※患者住所地 (H29年6月時点)	合計	3,063	人	
	3か月未満 (%:構成割合)	517	人	
		169	%	
	3か月以上1年未満 (%:構成割合)	570	人	
		186	%	
	1年以上 (%:構成割合)	1,976	人	
	645	%		
	うち65歳未満	1,421	人	
	うち65歳以上	1,642	人	
退院率 (H29年6月時点)	入院後3か月時点	68.0	%	
	入院後6か月時点	84.0	%	
	入院後1年時点	91.0	%	
相談支援事業所数 (H31年4月時点)	基幹相談支援センター数	29	か所	
	一般相談支援事業所数	31	か所	
	特定相談支援事業所数	150	か所	
保健所数 (H31年4月時点)	8	か所		
(自立支援)協議会の開催頻度 (H30年度)	(自立支援)協議会の開催頻度	2	回/年	
	精神領域に関する議論を行う部会の有無	無		
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況 (H31年4月時点)	都道府県	無	0	か所
	障害保健福祉圏域	無	0 / 5	か所/障害圏域数
	市町村	有	18 / 42	か所/市町村数

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

県保健所（7か所）

地域移行推進会議
（企画会議）

精神障がい者の地域移行の促進等、地域課題を共有し支援体制の協議を行う。

出席者：

- 精神科病院院長
- 病院スタッフ
- 地域活動支援センター
- 各市精神保健福祉課
- 警察関係者
- 教育事務所
- 精神保健福祉センター

地域移行・地域定着ピアサポート事業

ピアサポーターの活用による地域移行・地域定着支援。

関係者：

- ピアサポーター
- 病院スタッフ
- 相談支援事業所

市町村

各市町村
自立支援協議会

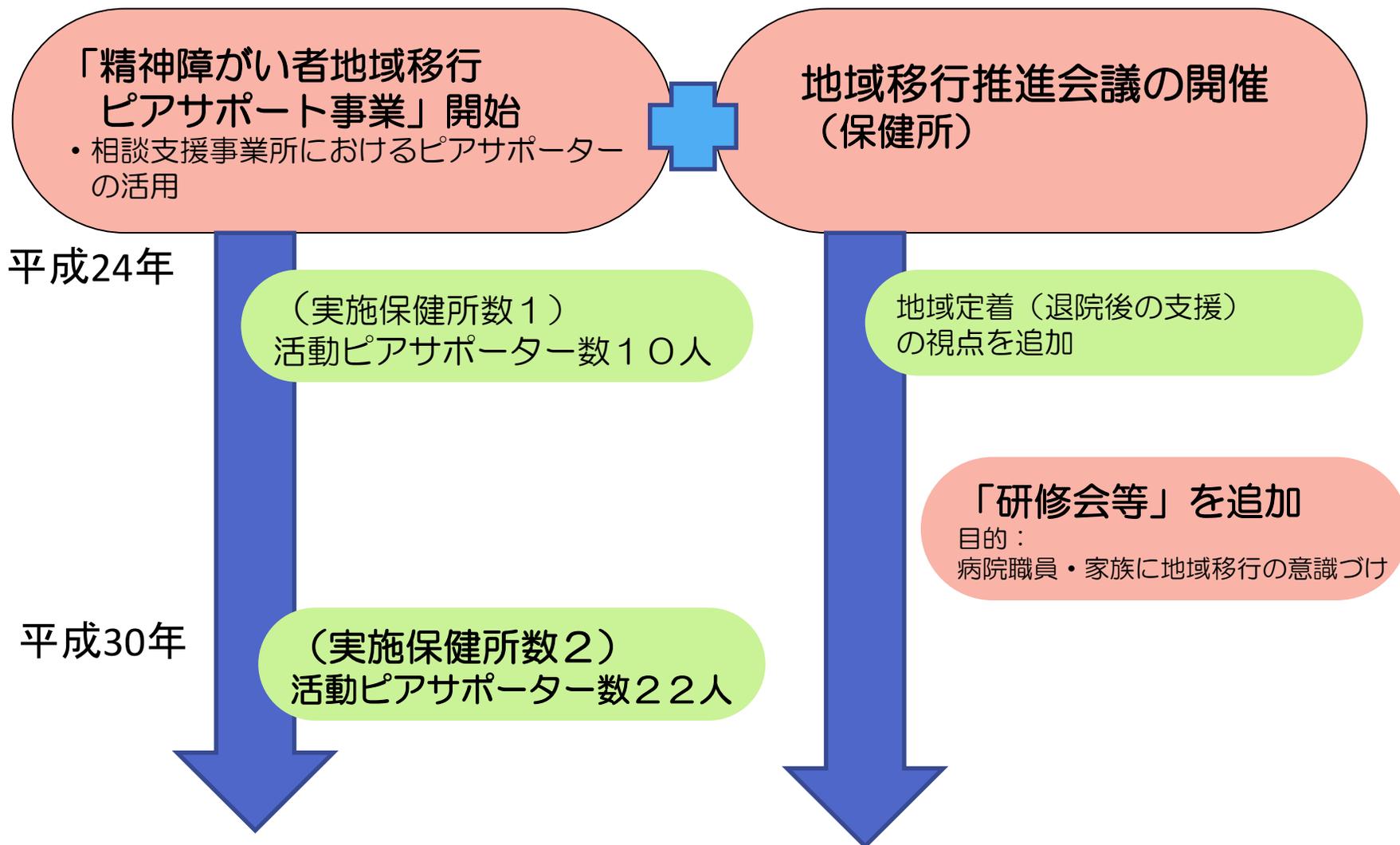
各市町村主催の協議会に参加。事例の相談・検討。

出席者：

- 各市福祉課
- 県事務所福祉課
- 地域生活支援センター

地域関係者の連携・課題や方針の共有

3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯



4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

＜平成30年度までの成果・効果＞

課題解決の達成度を測る指標	目標値 (H30年度当初)	実績値 (H30年度末)	具体的な成果・効果
①各保健所ごとに地域移行推進会議を開催し、退院促進及び再入院を防ぐための検討などを行う。	7つの保健所で1回以上開催	計9回開催	・措置入院者の退院後支援の検討や、治療中断による緊急対応事例を減らすための方策について意見交換を行い、関係機関で地域移行を推進する上での課題を共有できた。
②関係機関のネットワークの構築と人材養成を目的とした研修会を開催する。	7つの保健所で1回以上開催	計12回開催	・各地域で研修テーマを選択し、専門知識を深めたほか、事例検討により支援の考え方や方法を学ぶことができた。

5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組における強みと課題

【特徴(強み)】

<保健所による地域の特徴を生かした取組みの推進>

- ・精神保健福祉に関わる管内の機関と連携を密に図り、地域移行支援について協力体制がある。
- ・ピアサポーターの活用による他事業への波及(各研修講師として活躍)

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する視点別の認識(取組)	
		行政側	医療側
長期入院者などは、入院生活が安心となる場合があり、退院へのアプローチ方法が課題	当事者のみならず、家族への意欲喚起や、地域の理解促進が必要	入院機関との連携、家族や地域の理解促進	入院直後からの退院に向けての働きかけ
		福祉サービス利用の促進	
		関係機関・住民等	地域の受入れ体制整備、ピアサポーターの活用

課題解決の達成度を測る指標	指標の設定理由	現状値	目標値(H30)
①圏域を超えた、入退院ケースの支援の実施	県内のいずれの病院であっても、同じ支援が受けられる	—	—
②ピアサポーターによる退院支援活動の促進	当事者と同じ視点を持って支援ができる	活動中のピアサポーター22人	22人以上

6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた今年度の取組スケジュール

時期(月)	実施内容	担当
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所担当者会議において、「地域移行推進会議」等を活用し、圏域ごと(5つ)に協議の場を設置することを提案 	県保健医療課
上半期	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所(7つ)と協議の場の持ち方、内容について検討 ・県障害福祉課と今年度の進め方を協議 	県保健医療課 県障害福祉課 保健所
下半期	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域ごとに協議を実施 ・開催状況を踏まえ、令和2年度の県全体の協議の場の持ち方や、各圏域ごとの開催方法について検討 	